

## 和歌山を通して魅力的な日本を感じている

宋 詞

教育学部 交換留学生 中国

「日本に留学生は何人いると思いますか?」、先生は突然、私の前に来て、こう聞いた。私はその時、別のことを考えていたのだが、我に返って、少し考えた後、「5万人」と、心細く答えた。「60万人」、「120万人」…などと、皆が笑いながら、当てていた。「約14万人」先生が黒板に書いたこの数字を見て、日本人同士のたわいない日常会話を聞けたり、直に日本文化に触れられたりと、日本に来る機会を得た私は、どれだけラッキーなのかに気づいた。

月日の経つのは早いものだ。私が和歌山に来てから、もう二か月半が経った。実は、日本に来る前に、日本についての評判がいろいろ耳に入っていたが、実際に来てみると、日本がもたらす衝撃は思ってもみなかったほどだ。日本は絵巻のように、私が飛行機を降り立った瞬間から、目の前に徐々に展開し、自分の物語をいつも語っていない時はない。

例えば、行き届いたサービスは異国の留学生である私たちの心を温めてくれて、私たちに自信を持って生活するようにしてくれた。初めての来日の不安や未知への迷いもだんだんなくなった。特に、イオンで買い物した時のことが、とても深く印象に残っている。欲しい商品があったので、イオンのある化粧品店に入り、店員さんに声をかけた。いろいろ尋ねたあげく、そこに欲しい商品が置いていないことが分かった。踵を返そうとしたところ、店員さんがイオンの地図を持ってきてくれて、探している店を指さし、その店への行き方を詳しく説明してくれた。さらに、その場を離れるとき、彼女は私を見送ってくれて、「ご利用になれている商品を取り扱っておりませんが、申し訳ございません。」と言いながら、深くお辞儀をしてくれた。正直、このようなサービスを受けるのは初めてだったので、たまらなく感動した。

日本が住みやすい国として世界に知られているということは以前から聞いていたが、日本に来て、ようやくその言葉の意味が少しずつわかってきた。日本人は生活の便利さを極め、細かいところまで気を配っていると感じた。

例えば、日本では自動ドアは至る所に見られ、タクシーにまで装備されているほどだ。「日本人って、外国に行って、タクシーのドアが自動的に開いてくれるのを待っているんだって。」と先生から聞いた。「日本では自動ドアが多すぎて、帰国して慣れなかったらどうしよう。」と、ある日、スーパーで買い物した後、多くの荷物を持って出てきた私は、一緒にいた友達に冗談を言った。

また、「日本の不思議な存在は何?」と聞かれると、私はきっと迷わずに「百元ショップ」と「コンビニ」と答える。暇な時、私はいつも友達と一緒に百元ショップに行き、安



いわりにいいものを買うのだ。コンビニと言えば、商品の販売だけでなく、タイピングコピー機やATMもあり、各料金の収納代行や郵便パックまでもでき、本当に何でもできる便利な場所だ。

日本は「世界中で最もルールを徹底的に貫く国だ。」とよく言われる。私から見ると、それは単にルールを守っているだけではない。確かに、車であれ、歩行者であれ、皆が根気強く交通信号を待っているが、これは規則だからだ。人々は目が合ったり、すれ違ったりする時、必ず微笑んで軽く会釈してくれるが、これはマナーだからだ。車が多くても、道路が渋滞していても、クラクションは聞こえないが、これは礼儀だからだ。車は少し高級感がある乗り物として、歩行者に道を譲っているが、これは公衆道徳だからだ。

最後に、日本で感じたことは、全部いいわけではない。不登校、苛め、少子高齢化などの問題は日常生活の中で、そんなに深く感じていないが、スーパーやコンビニでアルバイトしている時、スピードがすごく速い生活のために、重いストレスを我慢し続ける人々は確かに大勢いるような感じがする。どんな国でも、いくつかの問題があるよね。



会館に帰る途中、信号待ちをしている時、道端にある綺麗な花がふと目に入った。見事に、ほとんど一軒ごとに、花が綺麗に咲いているのが見えた。遠い空を眺めながら、穏やかな街をエンジョイしている私は、「本当に、人々が生活を楽しんでいるなあ。」と思わず呟いた。日本の魅力を感じつつ、日本語がよりよくなって行くことを願っている。信号が変わった。再び帰り道に向かって進んでいた。

## 从和歌山看魅力日本

宋 词

“猜一下现在来日留学生有多少人？”老师好似忽然出现在我的面前，一个问题拽回了我正在游离的思绪，我想了想，很没底气地猜了一下“5万吧”，“60万”“120万”大家笑着，猜测着。“大约14万”，看着老师在黑板上写下的这个数字，想到自己能听到日本人地道的生活会话，能够直接接触到日本的文化，那一刻竟忽然意识到，得到来日留学机会的自己，如此幸运。

时光飞逝，转眼间，我来到日本已经两个半月了。其实在来日本之前，就听说了许多曾来过日本的国人对日本的评价，可身处其中发现，日本带给我的触动甚至是震撼还是那么清晰深刻，超出我的想象。日本就像一副画卷，从我下飞机的那一刻起，逐渐在我的面前展开，无时无刻不在诉说着属于它自己的故事。

比如，热情、高质量的服务让我这个异国留学的学子倍感温馨。或许会有来日游学的惶恐，或许会有对未知生活的迷茫，但这却让我对在日的生活充满了信心。尤其是发生在化妆店的一件小事，给我留下了深刻的印象。记得那天我走进了イオンの一个化妆品店，向店员询问我想要的化妆品，沟通之后发现这里没有我想要的商品，正当我想转身离开时，她拿出一张イオンの地图给我，把有我想要的化妆品的店标记出来，并为我详细讲解路线，当我离开的时候，店员把我送到门口，并深深地鞠了一躬：“没有您的商品真是万分抱歉。”这样的服务态度我还是第一次体会到，令我感动不已。

以前就听别人说，日本是最适合生活的国家。来到这里才感受到日本人对生活的细致与便利的不懈追求。

来日本后，发现日本的自动门随处可见，甚至普及到出租车上，听老师说，日本人去国外竟然会等着出租车自动开门呢。一次，拎着一大包东西从超市里走出来的我忽然开玩笑地和同行的朋友说：“日本的自动门这么多，回国之后不适应怎么办？”

若是被问到，“你觉得日本最神奇之处是什么？”我一定会毫不犹豫地回答：百元店和便利店。闲暇时经常和小伙伴去百元店淘一些物美价廉的生活小用品，而便利店，不只是经营商品，还有ATM机、打字复印机，还可以代收各种费用，甚至还可以邮寄东西，真是全能的呀。

日本被公认为是“世界上最守规矩的民族”，而在我看来那不仅仅是遵守规则那么简单。确实，无论行人还是车辆，大家都会耐心的等绿灯，没有人会抢路先行，因为这是规则。当人们眼神接触之间或者在别人面前经过时，一定会微笑颌首示意，因为这是礼貌。无论有多少辆车，无论交通多么拥挤，都听不到汽车鸣笛声，因为这是文明礼节。“车让行人”已经是不成文的规定，因为这是社会公德。

另一方面，在日本感受到的事情并非都是好事。虽然在日常生活中并不能深刻地感受到“学生不上学”、“欺凌”、“少子老龄化”等问题，但在超市和便利店打工时可以体会到日本人在极力忍受着快节奏的生活带来的巨大压力。无论是什么样的国家，都有各自的问题啊。

回会馆的路上，等信号灯的时候，不经意瞥见路旁正盛开着的鲜花，实际上在日本几乎每一家都会养花。我一边眺望远处的天空，一边感受着这安稳祥和的街道，不禁感叹“每个人都在享受着生活啊”。一边感受着日本的魅力，一边祈祷我的日语会越来越好。这时信号灯变绿了，我再次踏上了归途。